

④ 事後キャンプ 【ファイナル】

1. 企画運営のポイント

- (1) 参加者に達成感を味わわせ、自身の成長を実感させるために、日程短縮のため本キャンプで実施できなかった赤城山登山をプログラムに取り入れた。
- (2) 参加者が、本キャンプで学んだことや感じたことを家庭・学校生活で生かしていくために、閉会式で一人一人に決意表明をする時間を設けた。
- (3) 本キャンプを欠席した参加者や本キャンプ途中で帰宅した参加者がスムーズにキャンプに参加できるように、職員とボランティア間の事前の打ち合わせと情報共有の徹底を図った。

2. 日程・主な活動内容

日程	午前	午後
9月17日(土)	受付 開会式 登山(姫百合駐車場～荒山高原～鍋割山) 昼食(荒山高原)	たき火 入浴 ふりかえり 就寝
9月18日(日)	起床・洗面・掃除・荷物整理 朝食 レクリエーション	アンケート記入(2種類) 色紙づくり 眼の検査 閉会式(決意表明)

3. 活動の様子



登山

たき火

決意表明

4. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足: 23人(100%) やや満足: 0人(0%) やや不満: 0人(0%) 不満: 0人(0%)

(2) 成果

- 参加者の様子やアンケート記述で「登頂できてよかった。」「仲間と協力して登りきることができた。」とあることから、本キャンプで実施できなかった登山で達成感やグループの連帯感を感じることができたと考えられる。
- 閉会式で決意表明を取り入れたが、どの参加者もすぐに自身の感じたことを自身の言葉で発表することができた。そのことから、参加者は、本キャンプで学んだことを自分なりにふりかえり、これからの生活に生かしていこうとする意欲につながっていると考えられる。

(3) 課題

- 参加者が自身の成長や変容がわかるプログラムや掲示の開発。
- キャンプ参加前を含む、参加者の健康状態の維持と把握の仕方を工夫すること。

3 調査結果

(1) 当所実施のふりかえりシートからみる参加者の変容

1. ふりかえりシートについて

【ファースト】 出会い
ねらい: 本キャンプに向けて、新しい仲間とともに協力して活動に取り組もう。

<p>○7月9日の主な活動 ・アイスブレイク・レクリエーション ・野外炊事(カレーライス)</p> <p>○今日の活動をふりかえって ①自分の意見をしっかりと書いた (5・4・3・2・1) ②友達の意見に耳を傾けることができた (5・4・3・2・1) ③自分と友達の考えの違いに気づいた (5・4・3・2・1) ④みんなが納得する決定ができた (5・4・3・2・1) ⑤グループの決定に満足している (5・4・3・2・1) ⑥決まったことに対してやる気ができた (5・4・3・2・1)</p> <p>○明日の活動で生きたいこと 家庭生活や学校生活で生かしたいと思ったこと</p>	<p>○7月10日の主な活動 ・赤城山登山 (寛瀨湖～鳥居峠～長七郎山～小宮)</p> <p>○今日の活動をふりかえって ①自分の意見をしっかりと書いた (5・4・3・2・1) ②友達の意見に耳を傾けることができた (5・4・3・2・1) ③自分と友達の考えの違いに気づいた (5・4・3・2・1) ④みんなが納得する決定ができた (5・4・3・2・1) ⑤グループの決定に満足している (5・4・3・2・1) ⑥決まったことに対してやる気ができた (5・4・3・2・1)</p> <p>○明日の活動で生きたいこと 家庭生活や学校生活で生かしたいと思ったこと</p>
---	---

ふりかえりの項目について

- ①自分の意見をしっかりと書いた
- ②友達の意見に耳を傾けることができた
- ③自分と友達の考えの違いに気づいた
- ④みんなが納得する決定ができた
- ⑤グループの決定に満足している
- ⑥決まったことに対してやる気ができた

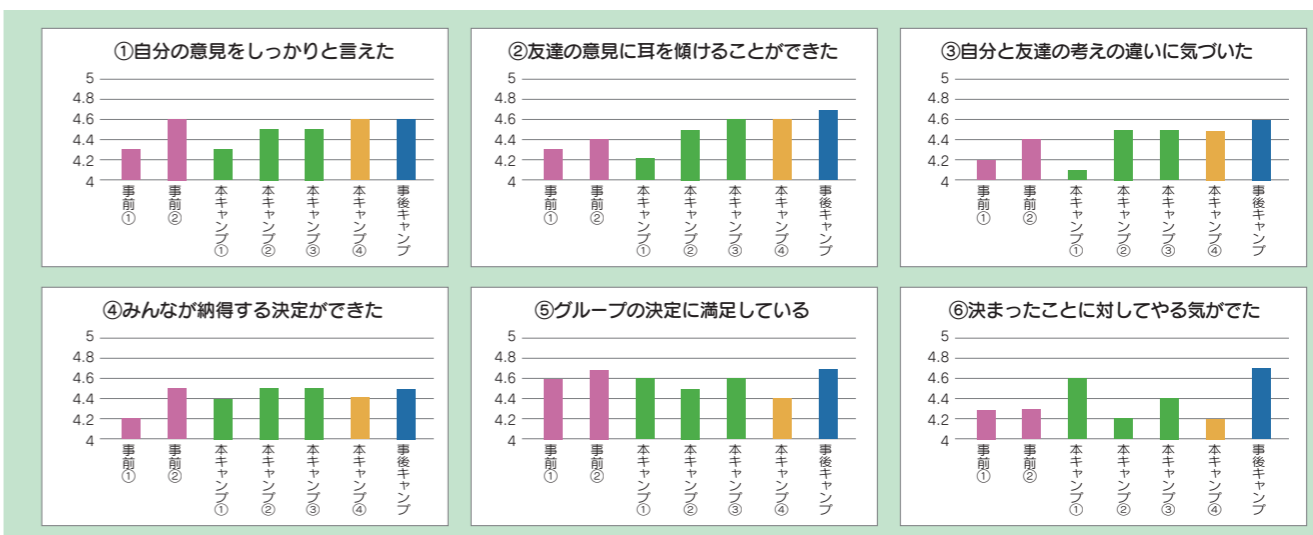
※ステージごとの協動的な自然体験プログラムの活動内容については、P.4参照

本事業では、キャンプをファースト(出会い)セカンド(獲得)サード(グループ)フォース(成長)ファイナル(旅立ち)の5つのステージに分けて実施し、毎日「ふりかえり」の時間を設定した。ステージごとに上記のふりかえりシートを活用し、グループでのふりかえりを行った後、個人でのふりかえりを行った。

※1～5段階の自己評価で、最大値は5

※フォースステージは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、未実施

2. 参加者全体の変容



考察

- ふりかえりの結果から、項目②・③において数値の向上が見られ、チームミーティングなどグループの話し合いの時間を確保したことが効果的だったことがわかる。
- 多様性を認め合える意識の醸成を図ること重視した本事業では、項目③の数値からわかるように、自分と友達の考えの違いに気づき、それぞれの考えを認め合えた参加者が多かった。
- 複数の項目で3日目の数値が低くなっていることがわかる。本キャンプの始まりの日であり、十分なコミュニケーションをとることができなかったことが要因だと考えられる。